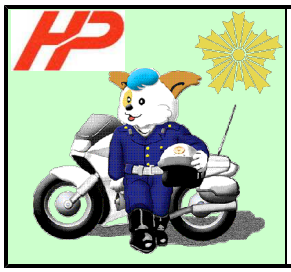

深川交通安全情報

ストップ・ザ・交通事故

令和６年３月８日
深　川　警　察　署
交　　通　　課
Ｒ６年　第１２号

暗くなったら目立ちましょう！

○夜間走行時の歩行者見え方実験○

▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ △ ▲

黒　青　紫　赤　緑　黄　白　黒＋反射材

☆横断歩道上に、歩行者に見立てたマネキンなどを設置し、ドライバーからの見え方を検証。
ドライバーが運転するテスト車は横断歩道の手前にある停止線から150m離れた位置をスタート地点とし、マネキンなどの対象に向かって時速20kmで走行。
テスト車のヘッドライト（LED）はロービームとハイビームの両方で見え方を確かめた。

○実験結果○

	ロービーム	ハイビーム
▲	27.6m	85.6m
▲	27.6m	111.0m
▲	28.3m	81.3m
▲	28.3m	142.3m
▲	28.3m	119.0m
▲	31.0m	151.6m
△	37.6m	154.0m
▲（反射材）	42.6m	154.0m

ドライバーが対象を発見した時点での距離
（スタート地点は横断歩道から154mの距離）

☆ロービームの場合、白と暗めの黒や青とでは約10mの差があったが、いずれも横断歩道の手前まで近づかないと認識することが難しかった。
ハイビームの場合、遠くから認識することはできたが、暗めの紫や黒と明るめの黄や白を比較すると約70mもの差があった。
黒＋反射材は、ヘッドライトの光が当たり反射していたため、ロービーム・ハイビームともに遠くからでも見えやすくなっていた。

- **夜間外出時は、白色や黄色といった遠くからでも見つけられやすい服装を意識しましょう。**
- **反射材を身につけ、ドライバーにより早く認識してもらうようにしましょう。**
- **夜間運転するドライバーは、基本はハイビームで走行し、歩行者等の存在を早めに発見する心がけをしましょう。**